

2021年10月期 第3四半期決算補足資料

株式会社モルフォ
(東証マザーズ:3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。

Vision



Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

2021年10月期 第3四半期連結決算 概要

Q3ハイライト

■ 特定顧客からのロイヤリティ収入が減少するものの、開発収入は回復基調へ

スマートデバイス事業に関して、米中貿易摩擦等の影響、および半導体不足の影響により当社製品が搭載される端末モデルの販売数量が減少したこと等の理由から、特定取引先からのロイヤリティ減少
⇒スマートフォンメーカーのニーズに迅速に答えるべくグローバル展開を推進

■ グローバル展開をはじめとした事業強化推進に伴い、人件費関連増加

研究開発や海外拠点における人材投資を実施したことにより、研究開発費や人件費が増加
中長期的な成長実現に向けたメリハリをつけた投資を継続(中長期的な成長に結びつかないコスト削減を推進)

■ 通期連結業績予想を修正

主にロイヤリティ収入の減少、新規ビジネスの売上貢献時期の遅れに伴い通期の業績予想を修正

■ 車載・モビリティ事業における戦略的パートナーシップ

車載システム組み込み開発や、車載機器に関連するソフトウェアや周辺サービスの開発に強みを持つミックウェア社と資本業務提携を開始

■ 自己株式の取得を決定

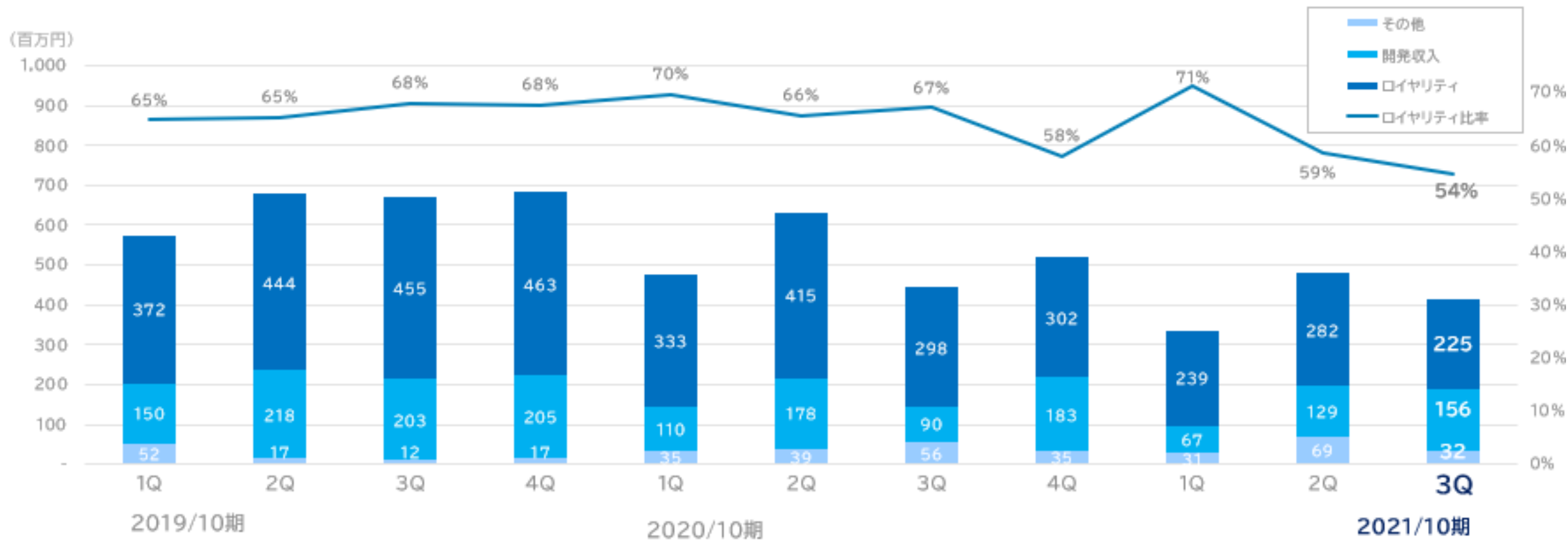
当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プランへの活用、並びに経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため自己株式の取得を決定

- 売上: 主に特定顧客からのロイヤリティ収入が減少するものの、車載関連の開発収入は回復基調へ
- 費用: コロナ影響等により経費減少するものの、全社的な人員先行投資の影響により営業費用増
- 営業利益: $\Delta 674$ 百万円 (前年同期比 $\Delta 639$ 百万円)

| (単位:百万円) | 2020/10期 Q3 | 2021/10期 Q3 | 増減 | 2021/10期 通期連結業績予想 (2021/9/10公表) |
|---------------------|----------------|----------------|--------------|---------------------------------------|
| 売上 | 1,553 | 1,228 | $\Delta 325$ | 1,760 |
| 営業費用 | 1,588 | 1,902 | 313 | 2,630 |
| 営業利益 | $\Delta 34$ | $\Delta 674$ | $\Delta 639$ | $\Delta 870$ |
| 経常利益 | $\Delta 50$ | $\Delta 651$ | $\Delta 600$ | $\Delta 840$ |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | $\Delta 321$ | $\Delta 598$ | $\Delta 277$ | $\Delta 790$ |

売上収益構成 - ビジネスモデル別 -

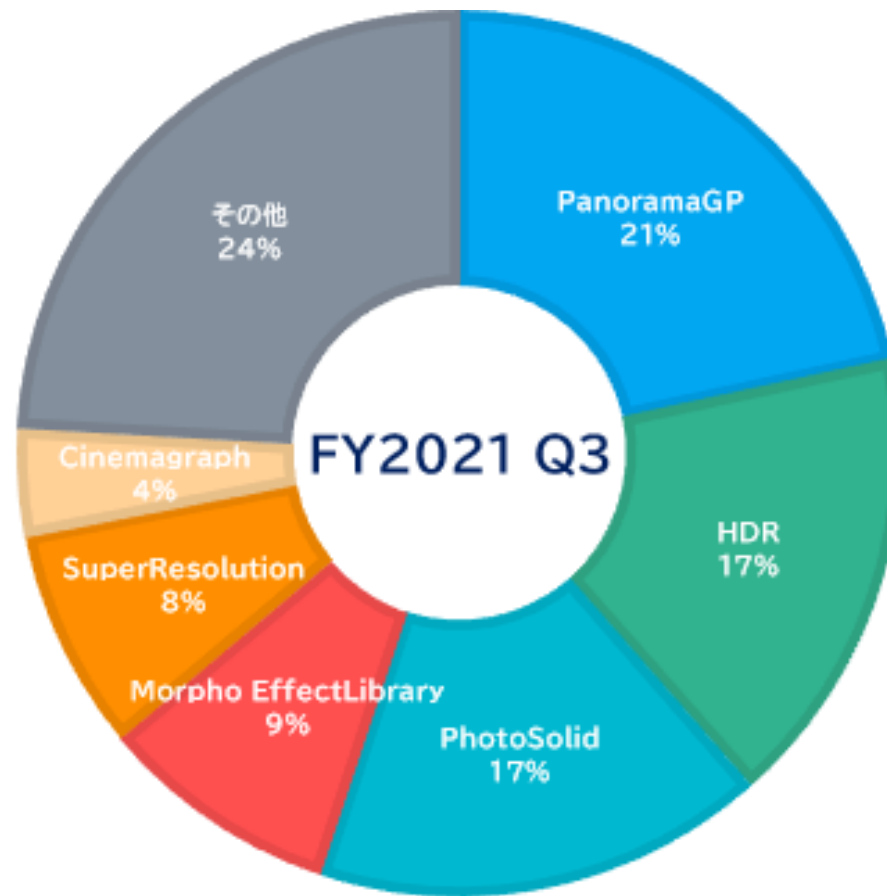
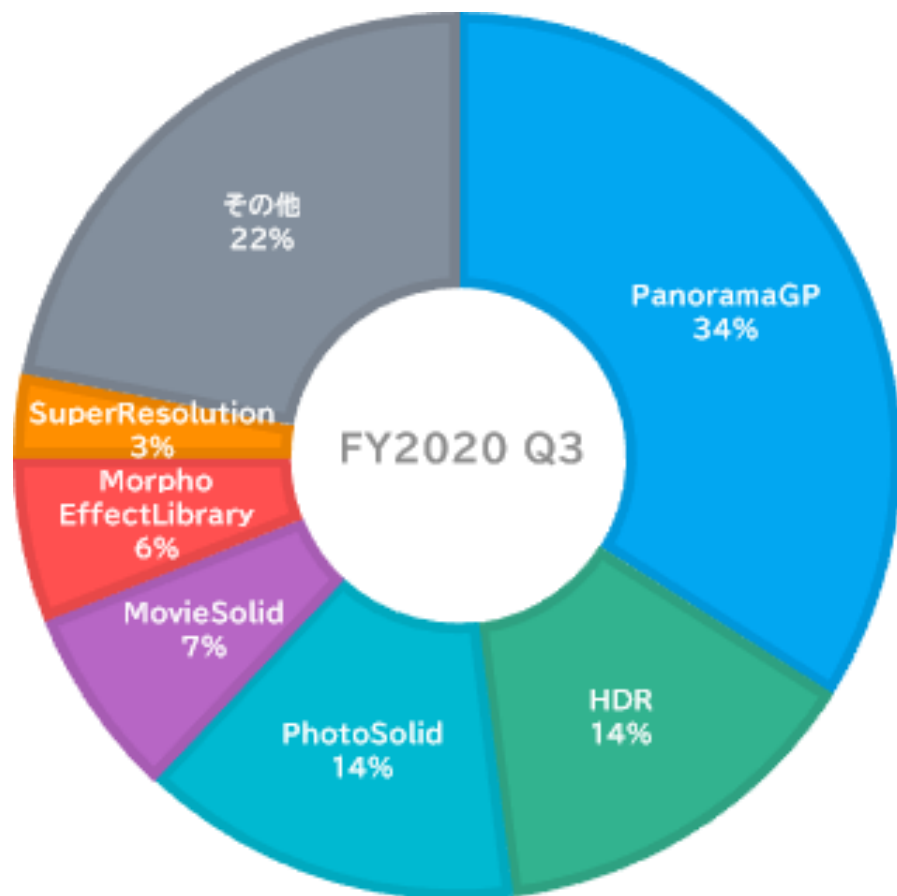
- ロイヤリティ収入：中国特定顧客との取引減少、半導体不足/顧客事業撤退の影響により前年同期比では減少
- 開発収入：車載関連開発は一時的な減少を経て回復基調へ
- その他：子会社(モルフォAIソリューションズ、Top Data Science)におけるコンサル・サポート収入堅調推移



コナ・米中貿易摩擦影響

売上収益構成 - ソフトウェア製品別 -

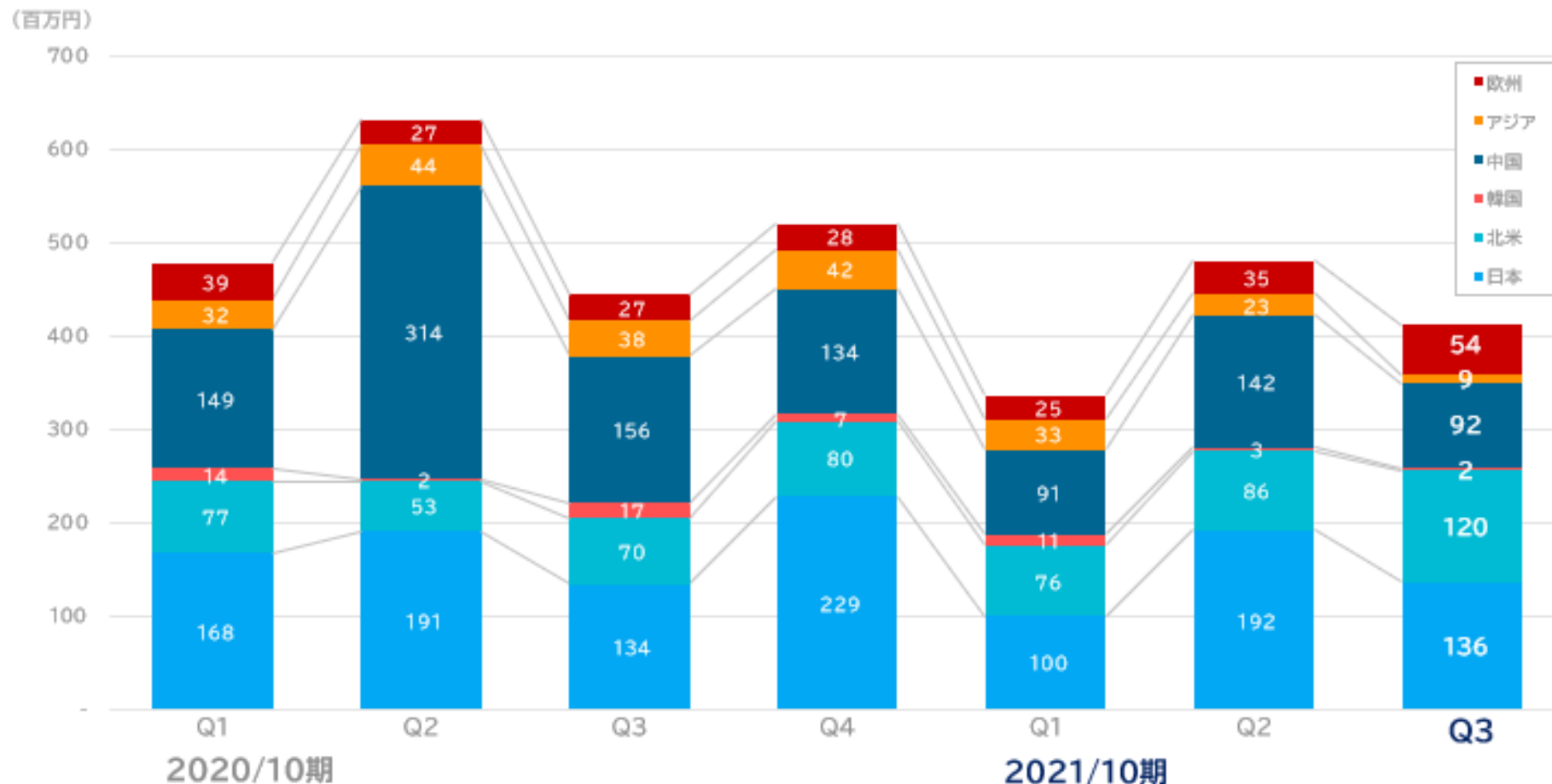
- 中国特定顧客の売上減少に伴い Morpho PanoramaGP™、MovieSolid® の割合が減少
- Morpho HDR™、PhotoSolid® 等、その他製品販売は堅調に推移



%はロイヤリティ収入に対する割合

地域別売上推移

- 北米 特定顧客からのロイヤリティ収入が前年同期比及び前四半期比ともに増加
- 日本 車載関連開発収入は回復基調だが、全体として前四半期比減少。Q4では大型案件の売上を見込む
- 中国 特定顧客からの収入減少の影響により前年同期比及び前四半期比ともに減少



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠。なお当期から管理会計上の地域分類一部見直しに伴い、前期数値を遡及修正しました (アジア：台湾、香港、ベトナム等)

通期連結業績予想の修正

●前回公表値との差異

| (単位:百万円) | 2021/10期 通期連結 業績予想 (2020/12/11公表) | 2021/10期 通期連結 業績予想 (2021/9/10公表) | 差異 | 要因 |
|---------------------|--|---|------|---|
| 売上 | 2,450 | 1,760 | △690 | <ul style="list-style-type: none"> ・半導体不足の影響で当社製品搭載端末モデルの販売減等によるロイヤリティ収入減少 ・新規ビジネスの進捗遅れ |
| 営業費用 | 2,600 | 2,630 | +30 | <ul style="list-style-type: none"> ・子会社モルフォAIソリューションズにて大型案件受注によるコスト増 |
| 営業利益 | △150 | △870 | △720 | |
| 経常利益 | △160 | △840 | △680 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | △130 | △790 | △660 | |

将来のさらなる成長に向けて

既存の戦略領域におけるビジネス深化

スマートシティ領域内での新規ビジネス探索

車載・モビリティ

スマートフォン



スマートファクトリー

社会インフラ

映像監視

PC/タブレット

車載・モビリティ

スマートフォン

株式会社ミックウェアと資本業務提携を締結し、車載ビジネスの付加価値向上と新規ビジネスの協創を推進する

モルフォ

事業内容：
画像処理およびAI技術の研究・製品開発

強み：
デジタル画像処理およびDeep Learningによる人工知能型画像認識に関する先進的な技術並びに人材を保有
スマートフォン・車載・IoT向けソフトウェア事業をグローバルに展開



ミックウェア社

事業内容：
コンピュータシステム・ソフトウェアの企画・開発・製作・販売

強み：
GPSを活用した車載システム組み込み開発や、車載機器におけるソフトウェアや周辺サービスの開発および提供において多くの商用実績、経験、知識、ノウハウを保有

資本業務提携について

株式会社ミックウェアが当社普通株式100,800株(議決権等の所有割合1.86%)を市場外の相対取引により取得予定です。

当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プランへの活用/ 経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を決定

●取得概要

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| 取得し得る株式の総数 | 300,000株(上限) ※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.5% |
| 株式の取得価額の総額 | 360百万円(上限) |
| 取得期間 | 2021年9月17日～2022年3月16日 |

Appendix

画像技術・AI技術を駆使したソフトウェア製品の開発

保有特許数 ※1

160

※1 2021年7月現在

累計ライセンス数 ※2

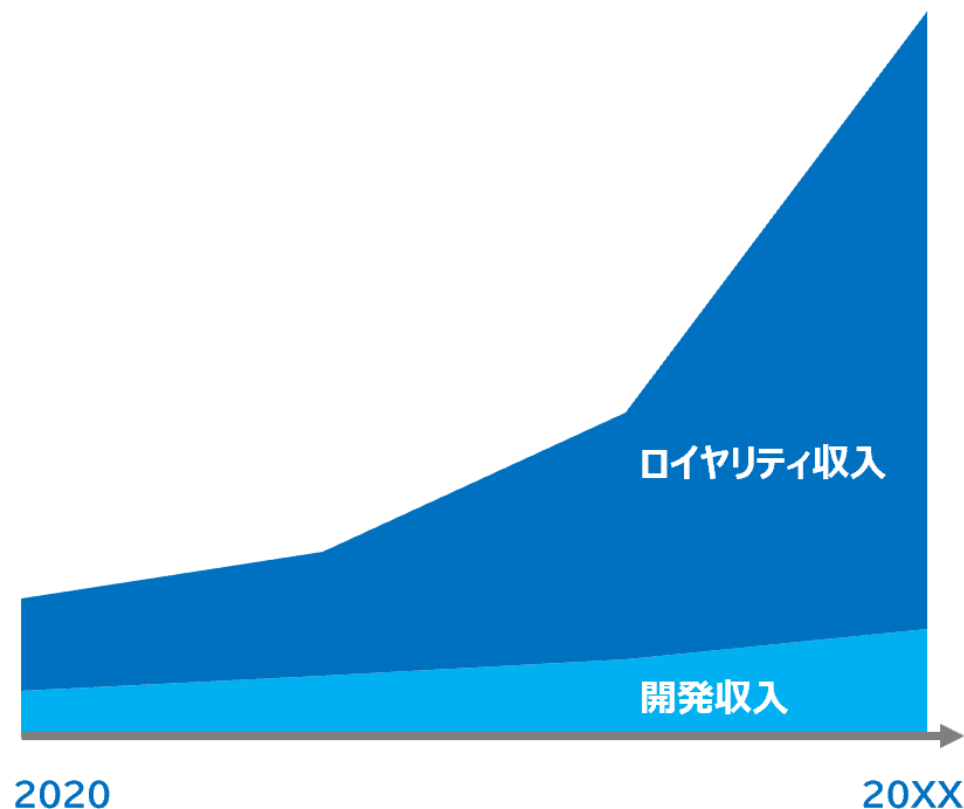
35億超

※2 2021年7月現在

- ✓ 画像技術に関する研究・開発力
- ✓ エッジデバイス向けのソフトウェア開発ノウハウ
- ✓ グローバルな事業基盤

ソフトウェア・ライセンス事業により収益の積み上げを実現

目指す収益構造の成長イメージ



ロイヤリティ収入

- ・各メーカーへ当社グループのソフトウェア製品を提供
- ・各メーカー製品の出荷台数/期間に応じたライセンス料收受

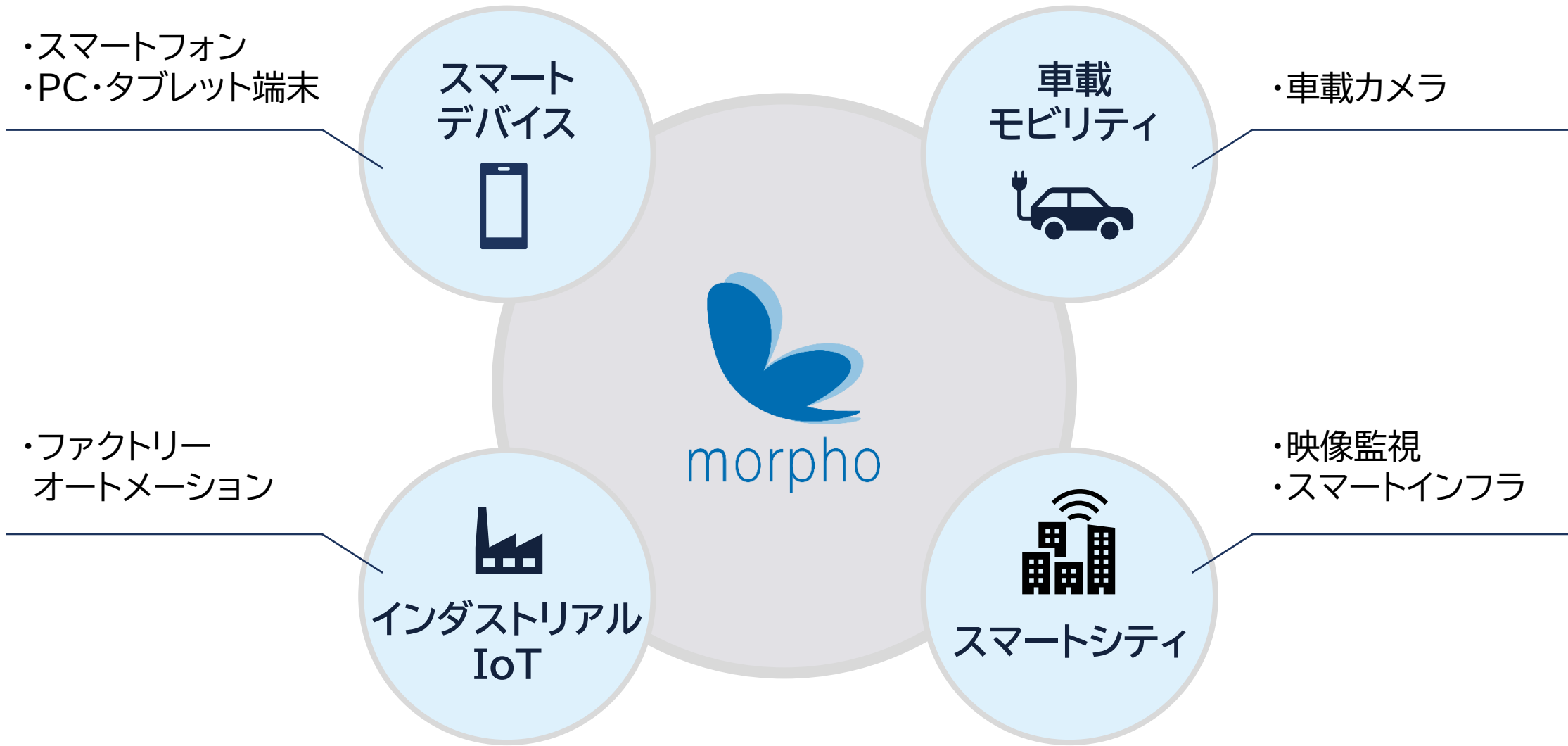


開発収入

- ・新製品・サービス開発時に、各メーカーからモルフォが開発を請負
- ・一定の条件を満たせば当社グループ単独でライセンス展開

事業環境/今後の展望

先進のイメージング・テクノロジーにより、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する



スマートデバイス

半導体パートナーとの連携強化/グローバル展開加速
スマホ以外(PC・タブレット端末)の需要拡大への対応

車載・モビリティ

車載メーカーとの協業強化

インダストリアルIoT

新規ビジネスの拡大へ

スマートシティ

社会課題の解決へ



スマートデバイス

- ・カメラ機能の高度化
- ・Mid・Low出荷台数比率向上
- ・処理速度向上・省電力要求 → モルフォのソフトウェア製品ニーズ



スマートフォンOEM・ODMニーズへの迅速な対応
端末カメラ機能を左右する半導体メーカーの存在



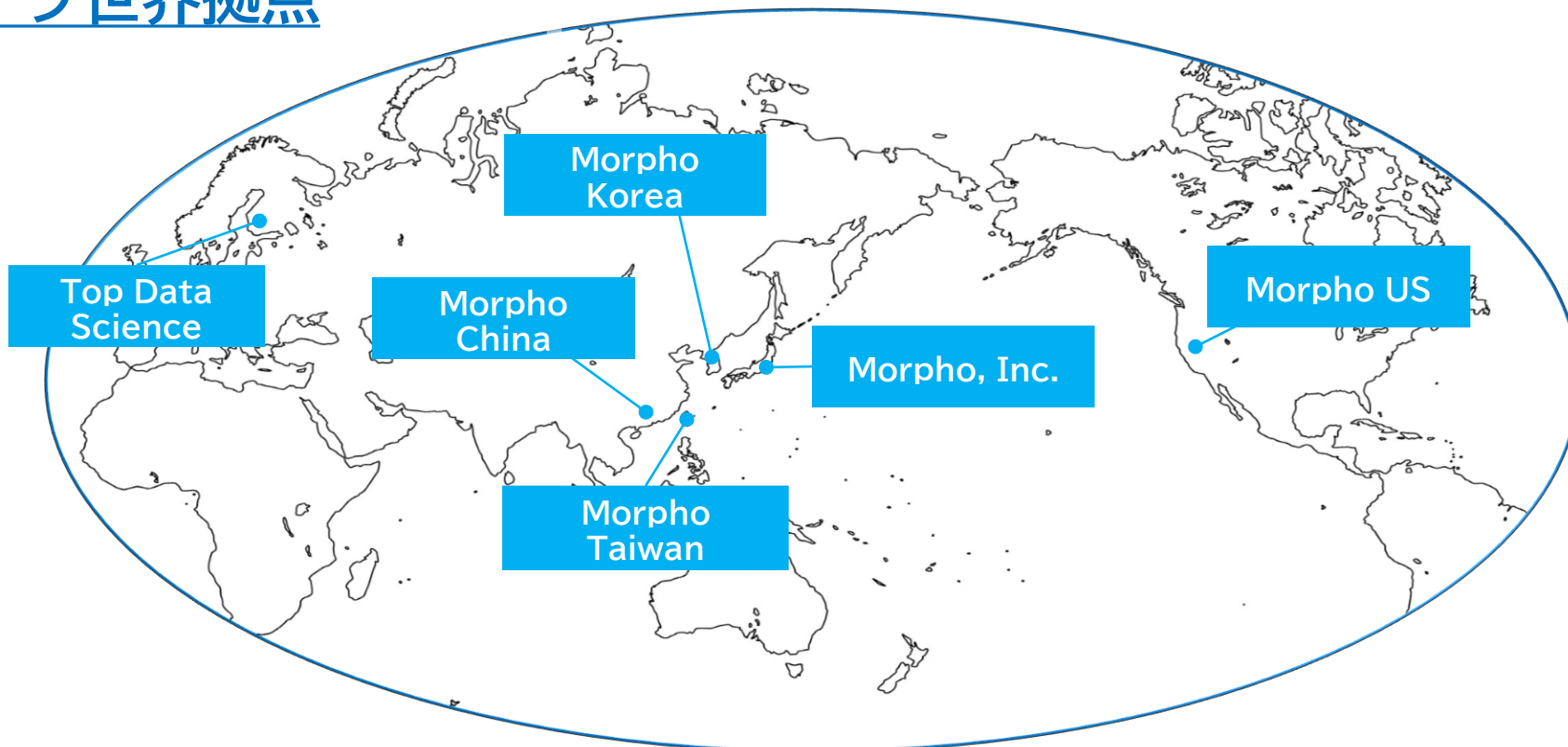
戦略

- ・グローバル展開の推進
- ・半導体メーカーとのパートナーシップ
- ・PC・タブレット端末への製品展開

スマートフォン世界Top10社のうち7社への技術提供

⇒スマートフォンOEM・ODM各社ニーズへの迅速な対応を可能とするグローバル展開

モルフォグループ世界拠点



端末カメラ機能を左右する半導体メーカーとの協業





車載・モビリティ

- ・ADAS(先進運転支援システム)市場の拡大
- ・車載カメラ搭載増加/多様化



AI技術応用分野拡大→ モルフォの画像処理×AI ニーズ
メーカー各社との中長期的な研究開発が重要



戦略

- ・車載メーカーとのパートナーシップ継続・強化
- ・半導体メーカーとの連携開始

ルネサスエレクトロニクス株式会社のR-Carコンソーシアムに参画





インダストリアルIoT

- ・労働人口減少
- ・コロナウイルス感染症感染拡大への対応



第2の眼としての画像処理・エッジのニーズ & AIによる生産性向上が必要
スマートフォンで培ったモルフォ技術の他用途展開が可能



戦略

- ・モルフォの技術で様々な画像処理ニーズへ対応



スマートシティ

- ・様々な社会課題(人口減少、災害、インフラ老朽等)の存在
- ・コロナウィルス感染症感染拡大への対応



様々な社会課題の解決に画像処理・AIのニーズ
スマートフォンビジネスで実績のあるモルフォ技術の用途展開が可能



戦略

- ・モルフォの技術で社会課題の解決を目指す



Thank you

お問い合わせ先
管理部 IR担当

TEL:03-3288-3250

E-Mail: m-info-ir@morphoinc.com